

令和元年度 新たに選定された「日本遺産」について

令和元年5月20日（月）に、文化庁において、新たな「日本遺産」の認定が発表され、県内では1件の新規認定と、1件の既認定資産における構成文化財追加が認められました。

1 「日本遺産」の新規認定 1件

「1300年つづく日本の終活の旅 ～西国三十三所観音巡礼」

2 既認定「日本遺産」の構成文化財の追加 1件

「忍びの里 伊賀・甲賀ーリアル忍者を求めてー」

日本遺産とは

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」に認定するとともに、ストーリーを語るうえで不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図る制度。

平成25年（2013年）にできた制度。

今回の認定によって、滋賀県に関する「日本遺産」は4件となります。

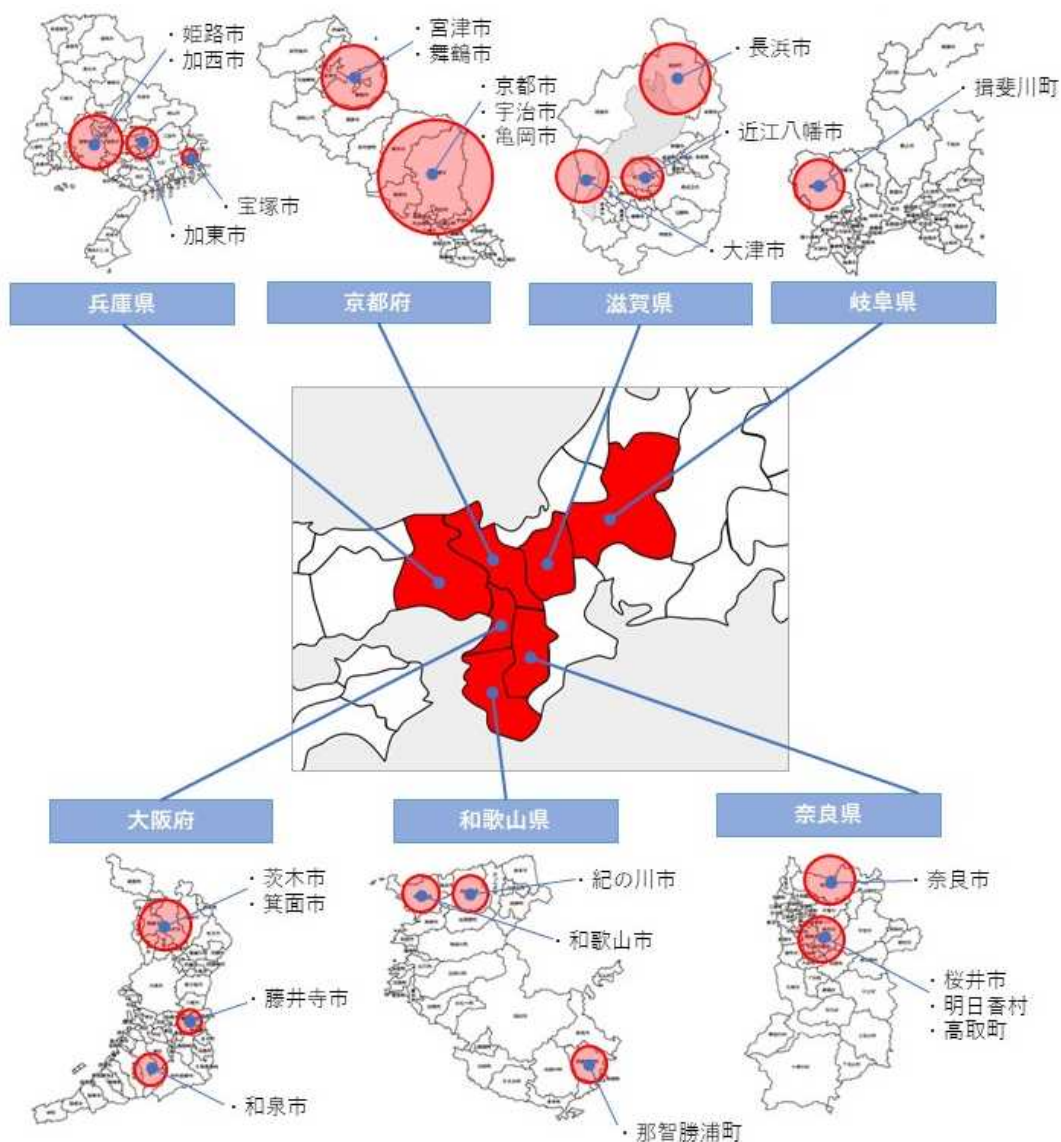
新しく認定された「日本遺産」

タイトル： 1300年つづく日本の終活の旅しゅうかつ ～西国三十三所観音巡礼さいこくさんじゅうさんしよかんのんじゆんれい～

申請者： ◎滋賀県大津市、滋賀県長浜市、滋賀県近江八幡市、和歌山県那智勝浦町、和歌山県和歌山市、和歌山県紀の川市、大阪府和泉市、大阪府藤井寺市、大阪府茨木市、大阪府箕面市、奈良県高取町、奈良県明日香村、奈良県桜井市、奈良県奈良市、京都府宇治市、京都府京都市、京都府亀岡市、京都府宮津市、京都府舞鶴市、兵庫県宝塚市、兵庫県加東市、兵庫県加西市、兵庫県姫路市、岐阜県揖斐川町
(7府県24市町)

県内の寺院： 大津市：岩間寺（第12番札所）、
石山寺（第13番札所）、
園城寺（三井寺）（第14番札所）
長浜市：宝巖寺（第30番札所）
近江八幡市：長命寺（第31番札所）、
観音正寺（第32番札所）

ストーリー： 究極の終活とは、ただ死に向かって人生の整理をすることではない。人生を通して、いかに充実した心の生活を送れるかを考えることが、日本人にとっての究極の終活である。そして、それを達成できるのが西国三十三所観音巡礼である。
日本人は海外の人から『COOL!』だと言われる。そのように評価されるのは、優しさ、心遣い、勤勉さといった日本人の本来の心であり、実はそれは日本人が親しんできた「観音さん」の教えそのものである。観音を巡り日本人本来の豊かな心で生きるきっかけとなる旅、それが西国三十三所観音巡礼なのだ。



近江エリア (滋賀県)

[6]

- ⑫ 第 12 番札所 正法寺 (岩間寺) と千手観世音菩薩
・ 滋賀県大津市
- ⑬ 第 13 番札所 石山寺と如意輪観音半跏像
・ 滋賀県大津市
- ⑭ 第 14 番札所 園城寺 (三井寺) 観音堂と木造如意輪観音坐像
・ 滋賀県大津市
- ⑳ 第 30 札所 宝厳寺と千手千眼観世音菩薩
・ 滋賀県長浜市
- ㉑ 第 31 番札所 長命寺と木造十一面観音立像
木造聖観音立像、木造千手観音立像
・ 滋賀県近江八幡市
- ㉒ 第 32 番札所 観音正寺と千手千眼観世音菩薩
・ 滋賀県近江八幡市

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	ふりがな 文化財の名称	指定等 の状況	ストーリーの中の位置づけ	文化財の 所在地
⑫	しょうほうじ いわまでら 正法寺（岩間寺）と せんじゅかんぜおんぼさつ 千手観世音菩薩	未指定 （建造物） 未指定 （彫刻）	第 12 番札所。養老 6(722)年、泰澄大師開基による元正天皇の勅願寺院である。泰澄大師は桂の霊木で等身大の千手観音を彫り、胎内に元正天皇の念持仏（現在の本尊）を奉安し、本尊とした。 標高 455 メートル、木立に覆われた境内には、日本一の桂の大樹群、芭蕉の池、雷神爪堀湧泉等があり、歴史と自然が共存する。東海自然歩道も通り、四季折々の自然が楽しめる山寺である。	大津市
⑬	いしやまでら 石山寺と もくぞうによいりんかんのんはんかぞう 木造如意輪観音半跏像	国宝 （建造物） 国重文 （彫刻）	第 13 番札所。石山寺縁起絵巻（国重文）によれば天平 19(747)年、聖武天皇の勅願により、良弁僧正が開山。巨大な珪灰石（国天然記念物）の上に本堂が建立されている。 月の名所でもあり、かつて紫式部がここから琵琶湖に映る月を見て『源氏物語』の構想を思いついた地でもある。	大津市
⑭	おんじょうじ みいでら かのんどう 園城寺（三井寺）観音堂と もくぞうによいりんかんのんぎぞう 木造如意輪観音坐像	国重文 （彫刻） 県有形 （建造物）	第 14 番札所。天台寺門宗の総本山。天智・弘文・天武天皇の勅願により、弘文天皇の皇子・大友与多王が田園城邑を投じて建立。天智・天武・持統天皇の産湯に用いられた霊泉があり、三井寺とも称する。 琵琶湖疎水から三井寺に至る道は、春には桜並木が美しい。「三井の晩鐘」として名高い梵鐘は、かつて目を失った竜女に子どもが健やかであることを知らせるために撞かれたものという伝説がある。	大津市
⑳	ほうごんじ 宝厳寺と せんじゅせんがんかんのんぜおんぼさつ 千手千眼観世音菩薩	国重文 （建造物） 国史跡 国名勝 未指定 （彫刻）	第 30 番札所。神亀元(724)年、行基によって開基する。 琵琶湖に浮かぶ島、竹生島にあり、渡し船でのみ参詣ができる。船上からだんだんと近づく島を見て、波しぶきを感じる。往事の巡礼者は、手こぎの船で苦勞して参詣したであろう。	長浜市
㉑	ちょうめいじ 長命寺と もくぞうじゅういちめんかんのんりゅうぞう 木造十一面観音立像 もくぞうしょうかんのんりゅうぞう 木造聖観音立像 もくぞうせんじゅかんかのんりゅうぞう 木造千手観音立像	国重文 （建造物） 国重文 （彫刻）	第 31 番札所。推古天皇 27(619)年、聖徳太子によって開基される。健康長寿の観音さんであるとともに、近江商人たちからも篤く信仰された。 山の中腹の境内から見下ろす琵琶湖は、かつて白洲正子が「近江の中で一番美しい場所」と讃えたほどの絶景である。	近江八幡市
㉒	かんのんしょうじ 観音正寺と せんじゅせんがんかんのんぜおんぼさつ 千手千眼観世音菩薩	未指定 （建造物） 未指定 （彫刻）	第 32 番札所。縁起によれば推古天皇 13(605)年、聖徳太子が人魚を救うため、千手観音の像を刻み、堂塔を建立する。標高 433 メートルの織山山頂付近に位置する。札所でも有数の難所であるが、本堂から望む平野風景に疲れも吹き飛ばす。白檀で造られた 3.5 メートルの千手千眼観音は圧倒的でありながら、柔和な微笑みを湛えている。	近江八幡市

構成文化財の写真一覧

⑫正法寺（岩間寺）と千手観世音菩薩



⑬石山寺と木造如意輪観音半跏像



⑭園城寺（三井寺）観音堂と木造如意輪観音坐像



⑳宝厳寺と千手千眼観世音菩薩



㉑長命寺と木造十一面観音立像、木造聖観音立像、木造千手観音立像



㉒観音正寺と千手千眼観世音菩薩



構成文化財の追加が認められた「日本遺産」

タイトル： 忍びの里 伊賀・甲賀ーリアル忍者を求めてー

申請者： ◎滋賀県甲賀市、三重県伊賀市

追加された構成文化財：甲賀市（2件）「佐治城」、
「甲賀流忍術屋敷」
伊賀市（4件）「丸山城跡」、
「無量寿福寺」、
「比自山城跡」、
「千賀地城跡」

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	ふりがな 文化財の名称	指定等 の状況	ストーリーの中の位置づけ	文化財の 所在地
①	甲賀の中世城館群	国史跡 市史跡 未指定	戦国時代の甲賀は強大な大名がないため、特別におおきな城はなく、また地侍たちの性格もよく似ていたため、同じ大きさ同じ形の城がひしめきあっていた。地侍たちは互いに連携し、共同で地域を治めていた。 いずれも一辺 50m程の方形の土塁で囲まれ、空掘りを巡らせた土造りの城である。	甲賀市
⑪	こうかりゆうにんじゆつやしき 甲賀流忍術屋敷	未指定 建造物	甲賀望月氏の老家旧宅で、江戸時代元禄年間の建物と言われる。内部には抜け穴や隠し階段、どんでん返しなどのからくりが施されており、現存する忍者の屋敷として貴重である。かつては製薬や売薬業も営まれていた。	甲賀市



佐治城



甲賀流忍術屋敷